

成人看護学概論	1年・後期	1単位 30時間	教授 本吉 美也子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310661

### 1. 授業のねらい・概要

成人期にある人の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、それらの特徴を踏まえたうえで、健康に及ぼす要因、健康状態が生活や社会的役割に及ぼす影響について考察する。また多様化・複雑化する人々の生活課題と健康問題に対処していく看護の役割や機能とはどのようなものかについて考え、援助に必要な知識・技術・態度について学習する。これらにより学生が成人期の対象者の個別性に応じた適切な看護援助とは何かを理解し、それらの援助を提供できる資質を養う。

### 2. 学修の到達目標

1. ライフサイクルにおける成人の位置づけについて説明できる。(D-2)
2. 成人各期の身体・心理・社会的特徴と発達課題について説明できる。(D-2)
3. 成人の特徴と健康障害を関連づけて説明できる。(D-2)
4. 成人の生活行動と健康障害を関連づけて説明できる。(D-2)
5. 成人の健康観に影響を及ぼす要因について説明できる。(D-2)
6. 成人の生活習慣に関連する健康障害とその対策について説明できる。(D-2)
7. 成人への看護に有用な主な概念にはどのようなものがあるか答えることができる。(D-2)
8. 成人への看護に有用な主な概念で用いられる用語について説明できる。(D-2)
9. 成人への看護に有用な主な概念の提唱者は誰かを答えることができる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

講義と演習を併用して進める。視聴覚教材やグループワークも取り入れ互いに学びあえる授業になるよう工夫する。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、グループワーク、プレゼンテーション、授業後のリアクションペーパーによるリフレクションを行う。

#### 【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Google Classroom, Gmail等を用いた学習課題の提示・解説。

### 4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	成人であるということ ライフサイクルにおける成人の位置づけ	講義	予習：「成人」という言葉から受けるイメージをノートにまとめてくる。 復習：「成人」の特徴についてまとめる。	本吉美也子
2	成人各期の身体・心理・社会的特徴と発達課題についてグループでまとめる。	講義 演習	予習：成人各期とはどのような区切りなのかを調べてくる。 復習：グループでまとめた内容を発表資料にまとめる。	本吉
3	グループでまとめた成人の特徴について発表し学びを共有する。	演習	予習：担当してまとめた部分以外の成人各期の特徴についてテキストを読む	本吉

			でくる。 復習：各グループの発表からの学びをレポートにまとめ次の授業時間までに提出する。	
4	成人期の生活の特徴についてグループでまとめる	講義 演習	予習：成人期の生活の特徴には何があるか調べてくる。 復習：グループでまとめた内容を発表資料にまとめる。	本吉
5	グループでまとめた成人期の生活の特徴について発表し学びを共有する。	演習	予習：担当してまとめた部分以外の成人期の生活についてテキストを読んでくる。 復習：各グループの発表からの学びをレポートにまとめ次の授業時間までに提出する。	本吉
6	健康観の多様性と看護	講義	予習：自分の健康観についてノートにまとめてくる。 復習：成人の健康観に影響を及ぼす要因についてまとめる。	本吉
7	生活習慣に関連する健康障害についてグループでまとめる	講義 演習	予習：生活習慣病とその対策について調べてくる。 復習：グループでまとめた内容を発表資料にまとめる。	本吉
8	グループでまとめた生活習慣に関連する健康障害とその対策について発表し学びを共有する。	演習	予習：担当してまとめた部分以外の生活習慣に関連する健康障害についてテキストを読んでくる。 復習：各グループの発表からの学びをレポートにまとめ次の授業時間までに提出する。	本吉
9	成人への看護に有用な概念 成人学習理論/ニード論	講義	予習：成人学習の特徴について教科書で確認する。 復習：授業で学んだ理論・モデルは何を理解するのに有効かをまとめる。	本吉
10	成人への看護に有用な概念 ストレス・コーピング理論/セルフケア論/適応理論	講義	予習：自分でセルフケアが来ていると思うことと来ていないと思うことをノートにまとめる。 復習：病みの軌跡・ストレス理論は何を理解するのに有効かをまとめる。	本吉
11	成人への看護に有用な概念 エンパワメント病みの軌跡/死の受過程容	講義	予習：病みの軌跡の事例（P235）を読んでくる。 復習：授業で学んだ理論・モデルは何を理解するのに有効かをまとめる。	本吉
12	成人への看護に有用な概念 自己効力/ヘルスプロモーション	講義	予習：自己効力，ヘルスプロモーションについてテキストを読んでくる。 復習：授業で学んだ理論・モデルは何を理解するのに有効かをまとめる。	本吉
13	成人への看護に有用な概念 危機理論	講義	予習：危機理論についてテキストを読んでくる。 復習：授業で学んだ理論・モデルは何を理解するのに有効かをまとめる。	本吉
14	これまで学んだ概念を用いて提示された事例の健康問題と対策についてグループで考える。	講義 演習	予習：成人への看護に有用な概念についての授業資料を読んでくる。 復習：グループでまとめた内容を発表資料にまとめる。	本吉
15	グループでまとめた事例の健康問題と対策について発表し学びを共有する。	演習	予習：発表の準備をする。 復習：各グループの発表からの学びをレポートにまとめ指定期日までに提出する。	本吉

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）60%，課題レポート40%で総合的に評価する。

定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てとする。

課題レポートの内容と提出日時は授業の中で提示する。

レポート提出が指定の期日に遅れた場合は50%減点となる（1週間以上の遅延は0点）。

総合評価が合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲と出題方法は事前に口頭で提示する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 安酸史子編（2022） ナーシンググラフィカ 成人看護学概論第5版 メディカ出版

2) 一般財団法人厚生労働統計協会（2025）国民衛生の動向2025/2026 厚生労働統計協会

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修（学修課題）について、最低45分の予習および復習を行うこと。

## 8. 受講上の留意事項

学生の主体的な取り組みを期待する。遅刻、欠席ならびに授業中の私語、許可の無い教室の出入り、授業に関係ない言動は慎むこと。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

レポートの講評は講義内に提示する。

試験の結果と解答は終了後、Google Classroom, Gmail等を用いて解説する。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

本科目は必修科目である。

## 11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。